

神奈川私学保連 NEWS



高校に進学する生徒の保護者の皆様へ

神奈川県私学保護者会連合会

会長 市川 昌 廣

(横浜学園中学高等学校後援会会長)

私立の高等学校に通う生徒などを対象にしたいろいろな学費支援制度があるのを、保護者の方々はどのくらいご存じなのだろうか。たまたま出逢う保護者に尋ねてみると、ほとんどが、くわしく知らない、とお答えになる。そして、くわしく知らないから利用することもなくそのままにしている、とおっしゃる。この制度は、私立の高等学校に通う生徒が安心して勉強できるよう、保護者の経済的負担を軽減するための学費支援制度なのに、利用していないということは大きな損失。これから私立の高等学校に進学する生徒や、高等学校に在籍している生徒の保護者の方々に、積極的に利用していただきたい大事な制度なのだから。

平成23年度の学費支援制度の中身をのぞいてみますと、公立高校の授業料無償化に合わせた「高等学校就学支援金」、所得制限と居住・所在要件等が付加されていますが「私立高等学校等生徒学費補助金」、返済要件があります「貸付制度の「神奈川県高等学校奨学金」、同じく所得制限と居住・所在要件等が付加されていますが「入学金分学費補助金」などなどです。とはいっても、このように羅列するだけでは利用方法や利用額が一向にわかりません。

そこで当連合会では、具体的な例をあげ、本号にまとめ「特集」してみました。くわしく解説してありますので是非読んでほしいのです。

たとえば「特集」の中で、進学当初の年収約500万円〜750万円（4人家族モデル・市町村民税所得割額が193,380円未満）世帯の場合のおよその利用可能額を見ますと、

- ①「就学支援金一律分118,800円」、
 - ②「学費補助金74,400円」、
 - ③「奨学金480,000円」、
 - ④「入学金分学費補助金99,000円」
- などで、合算すると、772,200円という大きな額が年間利用できることになっていきます。ということは、たまたま年収がこれより少ない4人家族モデル世帯の場合では、利用額はさらに莫大なものになるわけです。

これらの制度を利用するにあたり、今は臆する世の中ではありません。みんなが大変な時代なのです。堂々と積極的に活用してもらいたいものです。

さて、秋たけなわです。各学校では学園祭やスポーツ大会などが開催されている充実した季節を迎えています。

当連合会も秋恒例の研修行事を11月に催します。「JAXA研修ツアー」と銘うつ

て、観光バス2台による研修会です。昨年度は、キャッツ観劇会を催してたくさん保護者の方々が参加されました。

JAXAとは、宇宙航空研究開発機構により旧宇宙科学研究所の中核部として、1989（平成元）年4月に相模原に開設された神奈川県が誇る施設です。

案内書によりますと、丹沢山地を望む静かな環境に囲まれたキャンパスで、研究センター・管理棟、そしてロケット・人工衛星搭載機器の基礎開発／試験を行う特殊実験棟などが設置されている大きな施設です。キャンパスは、大学院教育など人類社会の発展を担う次の世代の育成も行っているそうです。

ほんとうは、生徒たちに観てもらいたい価値ある施設ですが、今回は保護者の方々に先行して見聞してもらい、お帰りになったらお子さんにお話いただきたいというのが企画の意図です。午前中に相模川ふれあい科学館に立ち寄り、お昼は相模原第一ホテルでホテルランチをいただき、午後に研修目的のJAXAを見学するという行程です。是非たくさんのご参加をお待ちしております。

12月には全国私学振興大会が日比谷公会堂で開催されます。私学助成金増額運動の最大行事です。こちらのご参加もお願いする予定です。

平成23年度

「定時総会」の開催

約10万人もの児童生徒の

健やかな成長と幸せを願い

平成23年度「定時総会」は、例年より4、5日早い5月24日（火）に開催されました。神奈川県私立小・中・高の保護者会連合会への加盟校は88校で、総会の参加校は委任状を含め66校、109名の参加でした。

当日は、前夜来の雨模様で心配しましたが、「総会」開始時にはその心配もなく、開催でき運営もスムーズに進行し、無事終了致しました。平成22年度事業・決算報告、そして平成23年度事業計画・予算が承認され、今後、役員（理事）が中心となり進めていくこととなります。その平成23年度役員も小川推薦委員長より、提案があり次ページのような方々が承認されました。

役員の方々も皆さんお忙しい、どちらかというとう無理をおしてのお願いで継続していただいたり、新しくお願い等しております。是非、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、今年度は、3名の方々（内田監事：4年、佐久間理事：2年、永沢理事：2年）がご退任され、新たに金子 晃久理事（高木学園女子高等学校）、平山 圭子理事（横浜富士見丘学園中等教育学校）の2名の方々が役員とし

来賓あいさつ



一つの喪失…でも愛し続けること

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工 藤 誠 一

（聖光学院中学校高等学校校長）

皆さんこんにちは、神奈川県私立中学高等学校協会の理事長をしております工藤です。常日頃より保護者の皆様には神奈川県私立の発展のために数多くのご協力、ご理解を賜っておりますことに心よりお礼申し上げます。今日この様に皆様が集まっていたけました。皆様はまさに保護者会連合会ということで私学の保護者であり、お父様であり、お母様でありますから、そんな皆様に少しでも私教育現場にいるものとしてメッセージをさしあげたいと思います。

冒頭でも黙祷しましたように現在東日本大震災というまれにみる自然災害、そして予想だにできなかった放射能漏れの問題等がございます。私たちの生活の中へ大きな影響が与えられているわけです。毎日のテレビの映像に映し出される被災地の喪失した空間、そこには何故か沈黙と、そして時間が止まった光景が流れている、そのように私は感じます。多くの人たちが昨日までの生活をそのままにしてほしい、そういった思いが底流に流れていたからではないかと私は感じます。私たちは日々の生活の中で色々なことに対して自分の感情を持ちます。悲しいとか寂しいとか、しかし今回の場合にはあまりにも巨大な自然の力を見せつけられてしまっ、一言で自分の感情でそれを表現することはできないのではないかなあという気がします。ただただ隠れた大きな流れに侵されているような気持ちに感じるのは私

だけでございましょうか。

大事な人、愛する人を亡くすということは、残された私たちの心の中にもう一つの喪失が生まれることではないかなあという風に思います。心の中にぽっかりと穴があいてしまふ、今、目の前にいる生きていく人々ですから。そしてもう一つは、その方が亡くなったことによるその人との思い出であるとか、心の中に刻まれた一つの光景、私たちは二度喪失しているかもしれません。ある意味では道しるべのない荒野をさまよってしまふような、そんな光景なのかもしれません。たくさん震災孤児も生まれているわけです。考えてみれば涙の源、私たちは時として涙することがあります。涙の源は人が思い及ばない遥か遠くにあるんだなあということを私は漠然と感じている日々であります。

こんな童話があります。「大きな木」という童話です。これはシエル・シルベスタインの童話です。一本の大きな木がありました。ある子どもはその木で遊ぶのが好きで、木登りをしたり、疲れたらたくさん葉の茂る木の下で昼寝をしたり、絶えずその木に支えられて少年時代を過ごしました。その木もとても少年が好きで、少年が遊びに来ると嬉しくて嬉しくて、少年のために木登りをさせたり、あるいは葉で日射しをおおい包んだりしていました。

少年がだんだん大きくなるとその木のところにやって来なくなりましたが、ある時またやって来る

●平成23年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏名	所属委父母会（PTA）・役職名
会長	市川 昌 廣	横浜学園中学高等学校後援会会長
副会長	佐藤 昭	横浜創英中学高等学校後援会会長
	玉園 篤 敏	平塚学園高等学校父母の会会長
会理 計事	星野 俊 則	アレセア湘南後援会会長
	山岸 篤 朗	立花学園高等学校PTA参与
理事	深沼 昭 彦	横浜清風高等学校PTA常任顧問
	原 大 蔵	聖光学院中学高等学校聖光会理事
	金子 晃 久	高木学園女子高等学校PTA会長
監事	平山 圭 子	横浜富士見丘学園中等教育学校PTA副会長
	小川 肇	横浜商科大学高等学校PTA元会長
顧問	腰山 浩 子	武相中学高等学校後援会元会長
	橋本 恵	神奈川県私学保護者会連合会前会長

て入られました。ご退任された方々には、そ
 のご功績にあらためて感謝申し上げます。
 加盟校に学ぶ約10万人もの児童生徒の健やかな成長と幸せを願ひ、私学経営における公私間格差の是正と私学助成の増額等本連合会の諸事業へのご理解とご協力をあらためてお願い申し上げます。



と木は言いました。「また木に登って一緒に遊ぼうよ」すると少年は「もう木に登ったりするよりも何よりも今ぼくはお金が欲しいから何とかならないかなあ」と。木はリンゴの木です。「じゃあ、このリンゴをとって町でお売りなさい」少年はリンゴの木から全部実をとって、そして町に行き行って売りました。少年が木の所に来たときは少年も木もともうれしかったんですね。

しばらくしてまた少年は木の所にやって来て「実は新しく家族を持ちたいから家が欲しい、だからお金が欲しい」リンゴの木は「それだったら私の枝を切って持って行きなさい」というと少年はそのリンゴの木の枝をみんな切って持って行って家を建てました。しばらくしてまた少年が来て「自分は外国に旅に出たい。だから金が欲しい。でもそんな金はありません」とリンゴの木は「それなら私の幹を切りなさい」と。少年は幹を切って船を造って遠くへ旅立ちました。リンゴはもう切り株だけになっていました。

しばらくしてまた少年が木の所へやって来ました。木は「今来ても私にはあなたが遊べる枝も葉もない、何もしてあげられないの」そのように木が言う、少年は「何もなくてもいいのです。僕には幹にぶら下がって遊ぶ元気もないし、お金をたくさんもらっても遣い道もない。もう疲れたからゆっくり休むところがほしい」と言いました。

すると木は自分の切り株をちよっぴり真っ直ぐにして「まあ、ここへお座りなさい」。少年はそこに座ってゆっくり休むことができました。こういふ話です。これは考えてみると親と子どもの関係かもしれませぬ。皆様方は多分お父さん、お母さんとしてお子様が生まれたとき、ありのままでお子様を受け入れたのではないのでしょうか。ありのままの姿を受け入れる両親、それでいながら子どもたちにだんだん条件を付けて、健康だけでなく、頭が良ければ、成績が良ければ、いい学校に受かって欲しい、あるいはお

金持ちになって欲しい等、それと同じに子どもの方は、だんだん皆さんのところを離れていきますね。「お母さん」と言ってくるときはお小遣いが欲しいときくらい。どうでしょう。あるいはお嫁さんをもらったら近寄りもしない。

考えてみると私たち親をさせてもらっているというのは、絶えず子どもたちから裏切られていることが多いのかもしれない。でも、一つ大事なことは何かというと、私たちは自分の子どもに裏切られても裏切られても子どもを愛し続けることです。私たちは生まれたときの子どもを、そのまま受け入れたでしょう。優しく抱いたでしょう。微笑みかけたでしょう。生まれたばかりの赤ちゃんはエンゼルスマイルで微笑みかけてくれました。それが始まりです。私たちは子どもたちに対して色々な条件を付けて愛するのではなくて、子どもたちをそのまま受け入れて、裏切られても裏切られても愛し続ける、そしてその子どもたちとのいくつもの思い出が、私たちの心の中にあります。その思い出はプリズムのようになって光に当てられて私たちの目の前にいつまでも甦ってきます。そしてそれが私たちの日々を生きる力にしてくれているのではないのでしょうか。裏切られてもそんな風に思っています。裏切られても子どもたちを愛する、何かとても淋しくお考えになるかもしれませんが、そんな一つのミッションを追っているのが私たち親ではないかなあ、そんな風に思っています。子どもたちはなかなか私たちの思い通りになってくれません。でも愛し続けること、それが私たちに求められているというのをもう一度今日お集まりのお父様、お母様にお願ひして私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。



●新役員紹介



(横浜富士見丘学園中等教育学校PTA副会長)

6年間を通して自立を

理事 平山圭子

学園を訪れますと、生徒たちが「こんにちは」と明るく声をかけてくれます。将来の「自己を生かし、かつ国際感覚を持って社会に貢献できる、品位ある自立した女性たち」です。

横浜富士見丘学園では、生徒たちの自立を6年間というスパンで捉え、「手間」と「情熱」を惜しまない教育、が施されています。その大きな3つの柱は、①幅広く深い教養と本物の学力の構築②女性の自立という建学の精神と校訓（敬愛・誠実・自主）に基づく人格形成③自己を知り自己肯定感を育成し、目標を定め進路実現を図るキャリアデザイン、の3点です。生徒たちは、自分の優れた面を発見し、努力する自分に自信を深め、将来を見据えた学習を積み重ね、「粘り強くあきらめない」、「チャレンジする」という「生きる力」を育み、自立していきます。

保護者に対しては、年2回の教育懇談会が前期課程・後期課程それぞれで開催され、生徒たちの状況、学園の取り組み、保護者の役割等についてお話があります。その他に、授業参観、面談、各行事等、保護者が学園に足を運ぶ機会が豊かに用意されており、「あなたのことが大好き」「かけがえのない大切な存在」というメッセージを、態度で子供に伝えることのできる大切な機会であると、感謝しております。

PTAでは、「生徒たちのため」という理念のもと、各委員会を始め、文化祭参加、講演会開催、サークル等、様々な活動をしております。保護者同士の親睦が深まり、学園と保護者の間に温かな連携を築いていく一助となるよう、今後も活動して参ります。

この度、理事という大役を仰せつかり、甚だ力不足ではございますが、神奈川私学保護の活動を通して、生徒たちの成長に、そして私学の発展に、少しでもお役に立てたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



(高木学園女子高等学校PTA会長)

オープンスクール

理事 金子晃久

今年度より私学保護者会連合会の理事を仰せつかりました金子です。一般社員の父親という立場のため微力ではありますが、私学発展のために務めさせていただきますので、よろしく願っています。

高木学園女子高等学校は昨年度より制服が一新され、校内では2種類の制服姿の生徒たちが日々学業に励んでいます。私からは新旧どちらの制服も素敵に見えるのですが、どうやら新しい制服に人気があるようです。新しい制服の影響かどうか定かではありませんが、この夏休みに開催されたオープンスクールでは約300名、保護者を含めると約600名という大勢の方々にお越しいただき、先生方と共に大変嬉しく思いました。

どの生徒さんを見ても大きな希望に満ちた目を輝かせながらも、目の前に立ちまはだかる受験という壁と、高校生という未知の環境に対して、心に少し不安を抱えている様子を肌で感じることができました。しかし校内見学の時間になり、在校生が満面の笑顔でクラブ活動の説明、吹奏楽演奏やバトン演技などを披露すると、未来の高校生たちの顔もしだいに緊張が緩んで、最後は希望に溢れた笑顔になっていました。

私は在校生の保護者代表としてオープンスクールへ来校された保護者の方々の何名かと直接お話をさせていただきました。私学進学ということでやはり就学費用に関してご心配されている方が多かったようです。神奈川県は私学助成という面でもまだ不十分な内容なので、このような保護者の方々の不安が少しでも減少するように、私学保護者会連合会の理事としての大きな責任を感じ、身の引き締まる思いがしました。

この日来校された方々の多くのみなさんと、来春晴れやかな笑顔で再会できることを願う晩夏の日でした。

いじめ・暴力行為対策協議会に参加して

副会長 玉園篤敏

(平塚学園高等学校PTA会長)

7月4日、神奈川県私学会館において「平成23年度第1回（通算54回）いじめ・暴力行為対策協議会」が開催されました。県民局くらし文化部学事振興課より坂本教育指導総括、萩谷教育指導主任の両氏、私学協会より工藤理事長をはじめ担当の諸先生方、私学保護より市川会長他3名の出席でした。90分間に渡る協議が行われましたが、印象深かった内容を簡単にご報告致します。

- ① いじめ・暴力行為の発生件数は、減少傾向にあるものの依然として存在している。
- ② 中でも、言葉によるいじめ・暴力行為がかなりの割合を占めている。
- ③ 新しいいじめの形態として、ブログ等電子機器を使ったいじめといったものが発生している。
- ④ 新入時等、人間関係づくりが未熟な集団である方が発生しやすい。
- ⑤ 以上のような状況を改善するために、学校として・スクールカウンセラーの登用、友人関係の改善、家庭への働きかけ等に取り組み、問題の解決を図っている。その為にも教師や教師集団が成熟していくことが必要である。

以上のようなことについて、具体的な事例及び統計の数字をもとに、現場の先生方の意見を交えた有意義な協議会でありました。

心静かに聴き入る!! バッハ組曲



(バッハの無伴奏チェロ組曲1番ト長調演奏)

皆さんこんにちは、本日はお招きいただきましてありがとうございます。チェロの山本裕康と申します。お招きいただきまして本当に嬉しいことですけれど、演奏家は震災以来3月、4月とほとんどコンサートはキャンセルとなりまして、いろいろ理由はありますが、「震災でそんなことやっている場合じゃないだろう」というのもありますし、共演する外国人のアーティストさんが「原発が怖い」ということでほとんどの方がキャンセルなさいまして、関連するコンサートはほぼみんなキャンセルになりました。僕も何人が友だちが来る予定ではあったんですが、キャンセルしたという話を聞いて、メールを送ったりしたのですが、逆に「そんなところで何をやっているんだ」「ヨーロッパへ逃げろ、日本はなくなるぞ!」というメールが真面目に返ってきます。

向こうでは相当な捉えられ方をしているのだなと、また事実大変なことが起きているわけですが、原発だけではないけれど、そんなことでほぼ4月の半ばまではコンサート、オーケストラを含めてキャンセルがほとんどでした。最近ではむしろやらなければ駄目ということになってきました。が、当時は自粛ということとコンサートをキャンセルしても、引いても叩かれなくていいかわからないのが実情でした。

こうして普通に演奏できるのは本当に最近では喜ばしいと心から思います。

今日はバッハの無伴奏チェロ組曲、そのうち1番と3番を演奏しますが、今演奏したのが一番有名なバッハの1番の無伴奏チェロ組曲ですけれど、出だしの一番最初の部分は、皆さんもお聞きになったと思うのですけれど、今世紀、今生きている中で一番有名なヨーヨー・マというチェリストがいますが、この方がCMで弾いたりしたことでもかなり有名になった曲です。

ヨーヨー・マさん、実は僕は、20年近く前ですけど、彼のレッスンを何度か受けたんですけど、それがサントリーのCMですね。5、6年前に出たときにサントリーの方からヨーヨー・マさんは、人間的にも素晴らしいと大絶賛していらしたんですね。どうもそのCMの撮影が、まるまる2時間かかったらしいですが、文句とか何も言わずにここに、どんな要求にも応えてくれ「素晴らしい、素晴らしい」と大絶賛されていました。

あとあと訊くと24時間で、ギャランティーが1億円だったらしいんですね。僕は、その半分でも文句いわずに、にこにこできるだろうなと思いますが、その位影響力のある方ですし、お会いしても本当に気さくな方で、世界でもはや敵がいらない、というか右に出るものがないという素晴らしいチェリストであります。その人が2回全曲を録音しているんですけど、一度目は若い頃で二度目は今から10年前位だと思えますが、レコーディングしています。僕も一応先生からバッハだけがチェリストにとって聖書みたいなものであるから、録音するなり演奏会でずっとやるなりしろと、



前々から言われていたので、CDを作ったわけですけど、何故かそこで売っていません。今日弾くのは1番と3番ですけど、売っているのは1番から6番まで6曲あるんですけど、全部収録されたものが何故かそこで売っていません。もしよろしければお買い求めいただければと思います。今はやりの義捐金として全額をということは全くありませんが、そこで何枚か置いてありますから、興味のある方は買ってくださいと思います。

次に3番を演奏します。1番より明るいというが華々しい感じの曲で、1、3、6番が人気があるといわれている曲ですけれど、その3番を演奏します。1番はト長調、3番はハ長調で、よく「おまえの弟ってC長なやつだな」なんてありましたが、C長というのはハ長調のことで、ハ長調というところ軽く感じに思われがちですけど、実はチェロにとっては1番下の太い弦が「下」の音でして、「上」の音だし、この音が基調になっていて実は楽器が一番響くチェロにとってはいい調整です。そのハ長調の3番を演奏いたします。

チェロの音色を堪能

監事 腰山 浩子
(武相中学高等学校後援会元会長)

5月24日定時総会後に特別演奏会が開催されました。今年には神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者山本裕康先生をお招きし、無伴奏によるチェロ演奏を楽しみました。

東日本大震災によりコンサートの自粛や共演する外国人が原発を恐れ帰国と、4月の中旬までキャンセルが相次ぎ演奏家としての活躍の場がなかったとのこと。

今日、普通に演奏出来ることがうれしいとご挨拶いただき、最初に有名なバッハの無伴奏組曲1番の演奏が始まりました。サントリーのCMで聞き覚えのある曲であり、なめらかでなんとも言えない音色でした。

先生は桐朋学園大学を首席で卒業、ギジアーナ音楽院(イタリア)でディプロマを取得、帰国後、東京都交響楽団首席奏者、広島交響楽団客演ソロ・チェロ奏者を経て、1997年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者に就任されました。

20年前には、世界的チェリストとして有名なヨーヨー・マのレッスンを受けたそうです。ヨーヨー・マはサントリーローヤルのCM撮影に24時間かかって文句言わず、いつもニコニコされていたそうで、人間的にも素晴らしく、バッハの全曲を若いころと10年前にレコーディングされているそうです。バッハはチェリストにとって聖書で山本先生もCDをリリースされました。

トークの後は無伴奏組曲3番、ハ長調なので低音が響き1番より明るく華々しい感じでした。後半は弾むような軽やかな音色で先生の紡がれる多彩なチェロの音色に心躍らされ堪能しました。

クラシック界の若き「カリスマ」として、今後ご活躍が期待されます。



(バッハの無伴奏チェロ組曲3番ハ長調演奏)

ありがとうございます。(拍手)

(司会) 今一度盛大な拍手をお願いします。(謝辞と花束贈呈)

本日は素晴らしい演奏をしていただき心が豊かになりました。福島で暮らす父にも聞かせてやりたかったです。ありがとうございました。

特集

公立高校の授業料がタダ！私立高校の授業料は・・・？ 経済的負担をもっと減らしてほしいのですが、何か方法はないのでしょうか？

Q1 公立高校の授業料が実質無償化と聞いたのですが、私立高校は無償ではないのでしょうか？

- A1** ①国の費用により、私立高校等の生徒の授業料に充てる「就学支援金」が、全員一律に **118,800円**（年額：公立の授業料分相当の額）支給され、また、保護者の所得によってさらに加算額が支給されます。
最大支給額は、237,600円（生活保護世帯や年収250万円未満程度の世帯）です。

Q2 神奈川県私立高校への学費支援制度には、「就学支援金」以外には、どんなものがあるのですか？

- A2** ①私立高等学校等生徒学費補助金 ②私立学校生徒学費緊急支援補助金
③神奈川県高等学校奨学金（貸付）
④その他（母子寡婦福祉資金、県内市町村の奨学金制度、国の教育ローン等々）があります。

Q3 私立高校生への「学費補助金」について、教えてください。

- A3** ①前年の所得金額が、一定額以下の保護者に対して、学校が「入学金」や「授業料」を軽減した場合、県が学校に補助します。
②対象者は、神奈川県内の私立高校に在学し、かつ生徒と保護者が共に県内に在住していることが条件になっています。したがって、県内に在住であっても東京の私立高校に通っている生徒は対象になりません。また、逆に神奈川県内の私立高校に通っていても、他の都県に在住の場合も対象になりません。
③「就学支援金」と併用して申請できますので、この「学費補助」とあわせ、所得区分に応じて、**年額最大420,000円から193,200円**の幅で支援されます（学校の授業料額が上限です）。

Q4 「入学金」の支援策は、ないのですか？

- A4** ①授業料だけでなく、入学金についても「学費補助金」として **99,000円**が支援されます。

Q5 「学費補助金（入学金を含め）」は、対象者であれば誰でも一律の支援が受けられるのですか？

- A5** ①保護者の所得によって受けられる支援額は異なります。
②下記の表のとおり、所得区分Ⅰ（生活保護世帯）から所得区分Ⅴ（年収約500万円～750万円未満）に区分けされ、各区分に応じた支援が受けられます。
<支援される額> 24年度以降変更となる場合があります。

区分	年収の目安（4人世帯の場合）	就学支援金	学費補助金	支援額合計
①所得区分Ⅰ	生活保護世帯	237,600円	182,400円	420,000円
②所得区分Ⅱ	約250万円未満	237,600円	182,400円	420,000円
③所得区分Ⅲ	約250万円～350万円未満	178,200円	89,400円	267,600円
④所得区分Ⅳ	約350万円～500万円未満	118,800円	96,000円	214,800円
⑤所得区分Ⅴ	約500万円～750万円未満	118,800円	74,400円	193,200円
⑥区分外	約750万円以上	118,800円	—	118,800円
*入学金（①～⑥が該当）		—	99,000円	99,000円

※年収は、各区分のおおよその目安であり、実際は「市町村民税の所得割額」が対象となる区分の基準となります。

Q6 もっと負担を軽減したいのですが、そんな制度はありますか？

- A6** ①奨学金としての貸付け制度があります。これが適用されると私立学校生徒は、30,000円（月額）又は40,000円（月額）が支給され、**年額360,000円又は480,000円**となります（24年度以降変更となる場合があります）。
②この「奨学金」は、**中学3年生の時に予約の申込み**をすることができます。案内は10月頃に中学校へ配布されます。

Q7 「就学支援金」、「学費補助金」「奨学金」は、併用できるのですか？

- A7** ①「就学支援金」や「学費補助金」そして「奨学金」は併用して申請できます。
②この3つの制度を最大限活用すると、所得区分に応じて、**999,000円から772,200円**の幅で支援されることになります。

経済的負担を軽減し、生徒が安心して勉強できるようにするために！！

私学への「学費支援制度」について

Q8 ある生徒の保護者の所得区分を一つ取り上げ、支援制度を利用した場合の例を示して下さい。

A8

以下の内容は、平成23年度のもので、24年度以降は変更となる場合があります。

〔4人家族をモデル世帯とした場合〕（年収はおおよその目安で年度により異なる場合があります。）

▶ 年収約250万円～約350万円(市町村民税所得割額18,900円未満世帯)
【所得区分Ⅲ】

▶ 年収約500万円～約750万円(市町村民税所得割額193,380円未満世帯)
【所得区分Ⅴ】

就学支援金一律分 118,800円 全員が対象（原則）	+	就学支援金加算分 59,400円 所得制限があります	+	学費補助金 89,400円 所得制限と、居住・所在要件 があります（県内在住かつ 県内の私立高校等に通学）	=	奨学金制度 480,000円 所得制限等があります (貸付制度：原則として 返還が必要です)	=	支援額計（年額） 747,600円 ※ 所得や学校の授業料 などの額により、実際の 支援額は異なります
								学費補助金入学金分 99,000円 所得制限と、居住・所在要件 があります（県内在住かつ 県内の私立高校等に通学）
								学費補助金入学金分 99,000円 所得制限と、居住・所在要件 があります（県内在住かつ 県内の私立高校等に通学）

Q9 支援制度を利用しても、入学時の納入金の全額支払に間に合いません。何か手だてはありませんか？

A9

① 神奈川の私立高等学校では、平成24年度入試から経済的負担の軽減につながることで、**入学時納入金の延納措置**を考えています。各学校にご相談下さい。

Q10 もっと細かなことや申請時期等をお聞きしたいのですが？

A10

① 支援制度のそれぞれの申請時期は、4月～6月頃で、入学した学校へ申請します。

② 問い合わせは、各学校または神奈川県の各担当課へお問い合わせ下さい。

* 「就学支援金」と「学費補助」

- ・ 神奈川県県民局くらし文化部学事振興課認可助成グループ
(電話：045-210-3793)

* 高等学校「奨学金」

- ・ 神奈川県教育委員会教育局企画調整部学校経理課育英グループ
(電話：045-210-8251) でそれぞれお聞き下さい。



●私学保護者の皆様へ協力をお願い

今ある制度を知り、最大限に活用する中で、経済的負担を軽減する。是非、「制度の理解と活用」をお知り合いの中学3年生のお子さんをおもちの保護者の皆様へ教えてあげて下さい!! そして、それが神奈川の私立高校の選択、そして私学振興へとつながればと思っています。

經常経費補助金の増額を!!

残暑厳しい9月12日、県庁を取り巻く大きな木々に蝉の声がまだまだ大きく聞こえる中、私学助成の請願書を持田文男県議会議長へ提出してまいりました。

神奈川県私立中学高等学校協会からは、工藤理事長・高木副理事長・大澤財務担当委員長、黒澤財務担当副委員長そして、田沼生徒募集対策委員長の5人、さらには私学保護者会連合会からは、市川会長と8名の理事・監事の方々が参加し、自民党を初めとした主要会派5党にお願いしてまいりました。

この請願署名行動は、公私間格差の是正や保護者負担の軽減を背景に加盟校82校、245名の皆様の願いがこもったもので、一つには「平成24年度經常経費補助金の増額」が大きな請願項目ですが、「学費支援制度の拡大や充実」等も視野においた行動でした。

私学教育への施策のいくつかは考えていただいておりますが、総体的にここ数年は全国的にみれば低レベルでの予算化となっております。各会派のご理解とご援助に大きな期待をもって帰ってまいります。



子どもの安全のためにフィルタリングをかけましょう!!

この4月1日から、社会全体で青少年を守り、支え、育てるために「神奈川県青少年保護育成条例」が改正されました。この改正条例は、さまざまな問題から子どもたちを守るために保護対象を乳幼児まで広げ、18歳未満全ての子どもたちが対象となります。

今回の情報は、この条例の改正ポイントの一つ「青少年の携帯電話のフィルタリングの義務化」についてです。

携帯電話のインターネットは **危険** ともつながっている

携帯電話は、「ネット端末」です。利用の方法によっては、被害者にも加害者にもなります。最低限の防衛手段として「フィルタリング」は必要です。

フィルタリングとは…

子どもに見せたくない有害サイト(「出会い系」「アダルト」「自殺」「暴力」「ギャンブル」サイトなど)が見られないようにするサービスです。

名称は、携帯電話会社によって異なりますが、原則無料で提供され、手続きも簡単です。

現在お様が使用している携帯電話について至急確認し、フィルタリングがかかっていない場合は必ず設定しましょう。設定の手続きは、携帯電話会社に問い合わせてください。

【神奈川県青少年保護育成条例】で義務化(平成23. 4. 1～)

18歳未満の子どもが使用する携帯電話のフィルタリングは原則として解除できません。解除するには、保護者による書面の提出が必要になります。

神奈川県警察パンフレットより

ホワイトリスト方式

- 子どもにとって健全と思われるサイトをリスト化し、それ以外は見られないようにする

docomo「キッズiモードフィルタ」、au「EZ安心アクセスサービス接続先限定コース」、SoftBank「Yahoo!キッズ」

- ・(メリット)～違法・有害サイトを見られなくする率が高い
- ・(デメリット)～有益なサイトが見られないことがある

★ただし、万能ではないため使い方に注意が必要!

ブラックリスト方式

- 違法・有害サイトをリスト化し見られないようにする

docomo「iモードフィルタ」、au「EZ安心アクセスサービス特定カテゴリ制限コース」、SoftBank「ウェブ利用制限」

- ・(メリット)～ホワイトリスト方式に比べより多くのサイトが見られる
- ・(デメリット)～リストにない有害なサイトが見られることがある

★危険の潜むグレーゾーンやリストにない有害サイトが見られることがあるため注意!

その他

- 利用者がサイトやカテゴリ、利用時間等により見られるかどうか変更する

(携帯電話会社によって機能が異なる。)

docomo「アクセス制限カスタマイズ」「Web制限」「時間制限」、au「カスタマイズコース」

主な諸行事出席状況

- ◆5月10日(火) 平成22年度5月理事会(最終) 議会(市川会長)
 - ◆5月24日(火) 平成23年度「定時総会」ホテル・キャメロット 6月22日
 - ◆7月4日(月) 日私学保連関東地区代表者会埼玉(市川会長)
 - ◆7月8・9日(金・土) いじめ暴力行為対策協議会(市川会長以下3名)
 - ◆7月14日(木)・30日(土) 日私学保連総会・研修会北海道大会(市川会長、佐藤副会長、橋本顧問)
 - ◆7月9日(土) 神奈川県青少年の健全育成を進める県民大会(原・平山理事)
 - ◆7月14日(木)・30日(土) 社会環境健全化推進街頭キャンペーン(原・平山理事)
 - ◆7月18日(月・祝) 「2011全私学(中・高)展」パシフィコ横浜展示ホールCD(市川会長以下5名)
 - ◆7月27日(水) 事務長会夏季研修会(佐藤副会長、橋本顧問)
 - ◆8月18日(木) 理事長校長会夏季研修会(市川会長、佐藤副会長、橋本顧問)
 - ◆8月26日(金) 日私学保連関東地区総会・研修会(市川会長以下10名)
 - ◆8月29日(月) 第2回公私立高等学校協議会(市川会長)
 - ◆9月12日(月) 持田県議会議長への請願(市川会長以下9名)
- ### 私学保連諸行事予定
- ◆9月22日(木) 禁煙・分煙活動を推進する神奈川県議(山岸理事)
 - ◆10月18日(火) 神奈川県レジ袋削減実行委員会(平山理事)
 - ◆11月4日(木)・23日(火) 子ども・若者育成支援協調月間キャンペーン(原・平山理事)
 - ◆11月28日(日) かながわ地球温暖化防止活動報告(佐藤副会長)
 - ◆12月2日(金) 私学振興全国大会
 - ◆1月13日(金) 神奈川県私学新春のつどい

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ <http://www.phsk.or.jp> ●内容 学校情報・入試情報・英文情報

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』 〒221-0833 横浜市神奈川区高島台7番地5 神奈川県私学会館内 ☎045(321)1901
 ■印刷所 『有限会社 イソノ』 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-10-4 ☎045(753)2549